

平成 26 年度 事業報告

福)塩谷福社会

1. 法人本部

2. せせらぎ(宿泊型・日中)

 共同生活援助

 青葉(就労継続支援 B 型)

3. 就労支援多機能型マイウェイ・つぐっと・ひまわり

 地域活動支援センターやすらぎ

 指定相談支援事業所やすらぎ

社会福祉法人 塩谷福祉会
平成26年度 年間事業実績報告 法人本部
2014. 4. 1 ~2015. 3. 31

常務理事 齊藤順子

1 法人総合・運營業務経過報告「平成26年度を振り返り」

(詳細については協議資料をご覧ください)

大きな節目の年であった。塩谷地域から、長橋地域へ、新たに、念願であった市、中心部への進出、稲穂地域への道が拓けた。開発局食堂(満福亭)の、オープンをきっかけとしてである。

本部事業としては、9月20日、秋晴れのもと20周年記念式典を迎えることができたことは、喜ばしいことであった。関係機関のご来賓の方々をはじめ、利用者の方々、ご家族の方々とたくさんの方にお集まりいただき、多くの方々に支えられている塩谷福祉会を職員、及び関係者一同、あらためて実感いたし、心から感謝を申し上げます。

3月は役員改選期にあたり、新しく川尻輝記評議員を、お迎えすることができました。

25年度から取り組んだ、塩谷地区公園化計画2年目に入り、20周年もあったことから、ルピナスの丘や、自然の地の利を生かした池、やちぶき、また、ふた冬を生き延びた金魚利用者の方、家族の方、職員共々憩いの場所になってきている。

人事について、4月には、新卒者1名採用にて8週間の各事業での研修を実施、全職員と働き、全体を体験できたことは大変、役立つことだと本人から感想をのべておられた。

稲穂地域進出により、3月には職員の移動がおこなわれ、4名の常勤職員、契約職員1名、非常勤1名が稲穂地域へ移動している。

各事業では、ぎりぎりの人数で新年度をむかえることになるが、先を見据えた事業展開である。新管理職1名を含め各管理者は早期の問題把握に、よりいっそう努めてほしい。

満福亭は、プレオープンを終え、3月26日オープンに至っている。営業時間11:30~13:30となっている。

理事長専決事項 (27.1/1~3/31)

: 開発局食堂の契約を行った。

: 稲穂地域物件の契約を行った。

: 1/16付、岡本好恵 非常勤採用

: 3/24付 渡邊裕美 非常勤採用・・・4/1より常勤採用となる。

26年度寄付金合計(20周年祝い金含む)

この期間の、ご寄附は皆様より、105件 ¥1,921,130円頂きました。ありがとうございました。また、お菓子、飲料、麺類、等のご寄贈も頂戴しております。重ねましてお礼を申し上げます。(詳細については、本部協議資料をご覧ください)

本部報告 01. 法人 運営管理

区 分		内 容
定款・諸規程	定 款 諸 規 程	02/14 定款目的事項（ワークメイト追加）（H27.4月1日施行） 02/14 運営規定の変更（H27.4月1日施行）
理事・評議員	理事・評議員会	05/24 第105回評議員会・第138回理事会開催 08/02 第106回評議員会・第139回理事会開催 11/15 第107回評議員会・第140回理事会開催 2/14 第108回評議員会・第141回理事会開催 3/14 第109回評議員会・第142回理事会開催
運 営 管 理	理事長専決事項	04/01 浜谷志姫 「青葉」生活支援員 04/01 ビニールハウスの撤去工事 07/01 仁科愛 「やすらぎ」相談員 08/01 20周年記念事業 「前庭周囲の柵工事」「集会場床改修工事」 02/01 開発局食堂の契約 02/01 稲穂地域物件の契約
	内部監査	05/19 H25年度事業全般（古賀監事）（本間監事） 07/24 H26年第1四半期事業・経理全般（古賀監事）（本間監事） 11/05 H26年度上半期事業・経理全般（古賀監事） 11/07 H26年度上半期事業・経理全般（本間監事） 2/10 H26年度第3四半期事業・経理全般（古賀監事）（本間監事） 3/23 小樽市による指導監査内容に沿った内部監査（古賀監事）（本間監事）
登記・財産管理	登 記	04/07 「新どんぐり」 小樽市長橋1丁目21-13 土地・建物購入に伴い登記申請 05/29 変更登記（財産変更）
その他	小樽税務署	05/27 損益計算書提出
	小樽市役所	07/24 社会福祉法人現況報告書提出

02. 寄付・寄贈

※ 個人金額・物品の記載は略する

区 分	金額・内容	寄付・寄贈者名
寄 付	法人事業全般 (H26.4/1-H27.3/31) 《内訳》 20周年式典（9/20） 祝儀（48万8千円） 指定寄附（50万円）含 む	1,921,013円 羽角幸子、森ヒロコ、医療法人西病院理事長西信博、(医) 明治眼科医院、藤田孝二、深田雄子、石谷歯科医院、(有)竹内建築、太田医院院長太田秀穂、(有)宮内富高堂、山崎義弘、板垣千恵子、(有)あらうみでんき、青地信二、古賀清敬、医療法人社団熊澤歯科 理事長熊澤龍一郎、(有)オートパーク、竹内隆三、鶴沼正、帯広生活支援センター三上雅丈、浦部浩行、渡辺悦子、清水健一、橋本博、加藤文治、芝坂敏男・和子・佳子、佐藤正夫、株式会社コマツダ、熊谷トキ、宮内和明、北井俊幸、司法書士佐藤甚兵衛、池田美知子、(有)山田燃料、(医) 小野眼科医院、安部正昭、佐藤考、奥幸治、明円ソフト開発、斎藤順子、志久旭、小樽グリーンライオンズクラブ、佐々木千枝、青地信二、岩田翔夫、奥山正彦、熊谷トキ、青木正子、秋谷由起子、四葉学園、江川光博、リハビリテーションハウス手稲、小野弘美、加藤尚子、川越今子、岸本芳朗、古平福祉会、辻田研也、辻田十三夫、木村輔宏、ステップアップ小樽工藤栄一、(福) 朔風えるむ黒川敏文、古賀清敬、後藤よし子、道北センター福祉会、澤井雄三、後志報恩会ひろば実原保、神保照美、こもれび会鈴木敬子、札幌ひかり福祉会、宏栄社、橋本博、地域活動支援センター前田の家土野美和子、藤原博重、堀内正臣、本間政昭、前田耕治、松下義弘、栄伸開発工業（株）三国幸一、恵泉塾水谷幹夫、(福) 札幌緑花会光増昌久、山上博、(有)山口燃料、佐藤繁男、(有)オートパーク 23、石井印刷、医療法人北勉会石橋病院、石田博子、川越今子、札幌北一条教会、小樽シオン教会、日本キリスト教団余市協会、清水真理

寄 贈	果物・菓子折・飲み物等	<p>橋本博 菓子折り、脇川潤子 菓子折り、京都医療福祉専門学校 お茶、村部様 菓子折り、 佐々木文彦 炭、深田雄子 お茶、古平福祉社辻田十三夫 お酒セット、京都医療福祉専門学校校長 辻勝司 ソープ 2 箱、八重樫満昭 ラスク 大缶、堀内正臣 炭酸飲料その他、オートパーク 23 車両、鏡様 空気清浄機・ソファ代、佐々木洋 飲料、かわべ商店 ジュース 2 ケース、木村強氏御親戚 菓子折り、吉田学園定平憲之 お菓子、(株)NTT 東日本北海道木下栄 ボックスティッシュ 4 箱、干場正吉 スイカ 2 玉、 川部米穀店 ジュース 2 ケース、古平福祉会 ビール 1 ケース、</p> <p>後藤よし子 お菓子、小樽四ツ葉学園紺野喜一郎 お花、戸田静雄 カキ 1 箱、深田雄子 サツマイモ 2 箱、山口燃料 お菓子、村部様 お菓子、京都医療福祉専門学校 石鹸、川部米穀店 みかん 5 箱、ホマレ商会 みかん 1 箱、(有)オートパーク 23 ハムギフト・食品、岩田翔夫・優子 糸糸他、笑ごころ コーヒーセット、深田雄子 食品・干しレモ、吉田学園、フルーツジュースギフト、八重樫満昭 洋菓子、</p> <p>※就労支援多機能型開発局食堂開店に際し、下記の寄贈を賜りました。</p> <p>お花：塩谷福祉会理事長高橋昭三、斉藤順子、アリス美容室、(株)グローリー、大盛自動車 (有)</p> <p>お菓子：池田美知子、せせらぎ・青葉一同</p> <p>飲料：西條産業 (株)、(株) くみあい食品、北海道コココーラボトリング小樽事業所</p>
-----	-------------	---

03. 労務管理

区 分	内 容
人 事	<p>常勤職員</p> <p>04/01 浜谷志姫 (新規採用青葉)</p> <p>非常勤職員</p> <p>0401 榎引理記子 (本部)</p> <p>0401 大石鴨之 (活動支援センター)</p> <p>0416 中谷みち子 (せせらぎ)</p> <p>07/01 仁科愛 (やすらぎ)</p> <p>07/01 辻口久枝 (多機能)</p> <p>07/28 稲田義人 (GH)</p> <p>01/16 岡本好恵 (多機能)</p> <p>03/24 渡邊裕美 (せせらぎ)</p>
	<p>退 職</p> <p>07/24 高橋広樹 (GH)</p>
	<p>休 職</p> <p>26.11/1-27.3/31 平泉紀吉 (せせらぎ) 病気療養の為</p>

04. 法人行事 及び 施設合同活動 (レクリエーションなど)

区 分	内 容
法人行事	<p>20周年記念式典</p> <p>09/20 法人 20周年式典</p>

05. 法人管理 及び 施設合同活動（管理面）

敷地・建物	0407	「新どんぐり」 小樽市長橋1丁目21-13 土地・建物購入に伴い登記申請
車両管理	0430	プレオ購入（せせらぎ）
	0829	リベロ廃車
	0829	スプリンター譲渡（オートパーク23より）
防火・防災		

06. 苦情解決

区 分	内 容
苦情解決	

07. 監 査

区 分	対象事業	内 容
小樽市法人指導監査	法人	法人運営管理・会計全般に対する指導監査

08. 施設運営（共通事務）

区 分	内 容
通知收受・提出	
行政折衝	

09. 施設運営（補助・助成）

区 分	所 管	内 容
自立訓練事業 せせらぎ	赤い羽根共同募金	0407 アンプマイク助成決定通知（50,000円）
青葉	赤い羽根共同募金	0407 青葉棟トイレバリアフリー改修決定通知（300,000円）

10. 施設運営（全体・合同会議）

区 分	内 容
定例会議	管理職会議 4/9.4/23.5/9.5/16.5/30.7/9.7/29.11/15.11/21.12/10.12/18.12/25.1/7.1/14.2/5.2/20.3/13
企画会議	実習生受入、防火等担当ごとに企画・実施 0115 法人全体職員会議

11. 職員・役員研修

参加日程	研修内容	開催地	
毎月第3火曜	顧問医学習会	小樽	施設職員、施設職員を対象とした処遇技術向上の研修会

12. 関係団体業務

加盟・連携・協力 団体	全社協	各担当において対処
	北精社協	〃
	札幌精援協	〃
	小樽市社会福祉協議会	〃

13. 広報

広報誌発行	0920	20周年記念誌発行
ホームページ	0801	多機能マイウエイドットコム作成 (http://shioya408.sakura.ne.jp)
見学受付		各部対応

14. その他

実習生受入れ	日本福祉大学より1名 日本福祉教育専門学校より1名 吉田学園より1名
--------	------------------------------------

社会福祉法人 塩谷福祉会

平成 26 年度 年間事業実績報告 塩谷地区・住居部門
せせらぎ（宿泊型・日中）・GH・就労継続支援（B型）青葉
2014. 4. 1 ～ 2015.3.31

管理者 加藤 慎治

1：平成 26 年度年間の総合評価

	H26 年事業計画	総合評価
宿泊型生活訓練 せせらぎ寮 (定員 14 名)	利用率 80% GH・日中活動との連携 の強化 利用者を尊重し、積極 的かつ速やかな対応を 行う。	① 処遇会議、期別評価のルーチン 化を図った。 ② 関係機関、事業所との連携・情 報共有 ③ 個別支援プログラムの充実 ※トレーニングハウスの設置と実 稼働を行った。 利用率も 80%代を維持するこ とができ、概ね計画を達成できた。
生活訓練（日中） せせらぎ (定員 20 名)	利用率（12 名以上） 有期限・目標達成型の 事業価値を高める。	青葉との共同展開を行っている。 塩谷地区という限られたエリアに おいて、少ない人員で効率的に事 業を展開するために、より良い意 思の疎通を計る仕組みを考えなけ ればならない。
グループホーム 幸 (10 軒) (定員 40 名)	今後の体制やチーム作 りを考える。	11 月 1 日に新規グループホーム 「もみじ」を開設。入居者が増え、 また入院者もほぼおらず、利用率 が 9 割を超えるほどに回復した。 ただし、年末に利用者が 1 名外出 したまま帰宅せず、そのまま行方 不明となった。改善策を検討しよ り良いサービス提供ができるよう 取り組んでいく。
就労継続 B 青葉 園芸 めぐみ食堂 喫茶元三郎 (食品加工部)	福祉的就労・就労前の 体力づくり・生きが い・生活維持など間口 の広い事業展開を行 う。20 周年の庭園造 成・施設維持管理に力 を入れる。	20 周年事業へ向けた造園、維持管 理に成果がでている。喫茶元三郎、 めぐみ食堂は、利用者の参加意識、 協調的雰囲気、が高まっている。 計画的な作業提供・準備について 検討が深められている。

2：平成 26 年度の振り返りと今後の展望・課題

第 3 四半期では、療養中の平泉管理者が 11 月以降 3 月末日まで休職となった。各部職員の補いを得ながら、サービス提供体制を維持した。

① せせらぎ(平泉管理者)

昨年度、今年度を振り返ると職員の利用者への関わり深みが垣間見えると思われる。今年度も、特に宿泊型においては、さまざまな事があったが、職員と関係機関の連携により解決されている。

今後も職員の資質の向上、各関係機関とのより密な連携を図っていききたい。それと共に防火体制、衛生的な面の充実を一層図っていくべきと考える。

職員へ誰のための支援課を良く考えて行動するよう努めていくよう指導していききたい。

② 青葉

喫茶、食堂とも利用者の技術やまとまりが生まれてきた。それぞれの担当スタッフが利用者の特性を生かした関わりを行なえたことが大きい。

3つの活動(園芸・喫茶・食堂)行っているが、人員配置を考えると事業範囲を広げるより今後は現在行っているこれら種目を深めることに力を入れていきたい。

③ GH 幸ほか

住居資源は、最も重要な生活基盤であると考えます。今後・現在もニーズがある。しかしながら、現在 11 軒、定員 40 名となりチームの抱える人数としては上限にきていると思われる。スタッフも 9 名と大所帯となった。

今後の体制・方向性を検討し、次年度に備える。

3：各事業の統計

宿泊型生活訓練事業 せせらぎ

定員 14 名	利用者 実数	月平均 利用者	延利用 者	新規 利用者	退所	給付収入
平成 24 年度	22 名	10.8 名	3750 名	9 名	11 名	39,400,000 円
平成 25 年度	18 名	11.4 名	3065 名	6 名	11 名	39,600,000 円
平成 26 年度	15 名	12 名	4116 名	4 名	4 名	39,170,000 円

生活訓練事業 せせらぎ

定員 20 名	利用者 実数	月平均 利用者	延利用者	新規 利用者	退所	給付収入 (宿泊と一体)
平成 24 年度	22 名	10.8 名	3750 名	9 名	11 名	
平成 25 年度	20 名	11.4 名	3065 名	6 名	11 名	
平成 26 年度	15 名	12.2 名	2797 名	4 名	4 名	

グループホーム 幸ほか

定員 40 名	利用者 実数	月平均 利用者	延利用者	新規 利用者	退所	給付収入
平成 24 年度	35 名	29.3 名	10,703 名	10 名	2 名	31,200,000 円
平成 25 年度	39 名	31.3 名	11,435 名	7 名	3 名	34,900,000 円
平成 26 年度	38 名	34.9 名	12,740 名	4 名	5 名	31,200,000 円

就労継続支援B型 青葉

定員 20 名	利用者 実数	月平均 利用者	延利 用者	新規 利用者	退 所	平均工賃	給付収入
平成 25 年度 H25.10-H26.3	13 名	7 名	870 名	3 名	0	1,201 円	4,500,000 円 (6ヶ月運営)
平成 26 年度	18 名	7.5 名	1872 名	5 名	2 名	5,823 円	12,800,000 円

社会福祉法人 塩谷福祉会

平成 26 年度 事業実績報告 日中活動・生活支援部門
 就労支援多機能型マイウェイ・つぐっと・ひまわり
 地域活動支援センターやすらぎ・指定相談支援事業所やすらぎ
 平成 26. 4. 1 ～ 平成 27. 3. 31

・指定相談支援事業所 やすらぎ

H 2 6 年度計画	総合評価・今後の課題
①計画相談の継続・効率化	<p>平成 24 年度から始まった計画相談は 3 年経過しやすらぎを含め 6 か所の指定相談支援事業所と 11 か所の居宅相談支援事業所が福祉サービスを使う障害者の支援を続けている。H26 年 12 月現在で 1151 名の支給決定のうち 895 名（78%）の計画が作られた。</p> <p>やすらぎにおいても多忙を極めており 26 年度は 124 件の計画をたて、現在もモニタリング等訪問を含めた生活支援を続けている。</p> <p>やすらぎとして H26 年 7 月より契約職員を 1 名雇用し相談支援に力を入れた。H27 年度も雇用を継続するが小樽市からの委託料は年間 370 万円（前年度比 60 万増）と計画相談の給付収入では予算上 500 万の赤字となっている。</p> <p>小樽市の精神障害福祉にかかる相談支援は行政のみならず医療機関からも信頼を得ており、「精神はまずやすらぎさんへ」と声をかけられるようになってきている。ただ、ケースのなかには断ることも出てきており、支援体制の不足をどうしていくか小樽市との協議を重ねていく必要がある。</p>
②他機関（病院・事業所等）との連携強化	<p>先述のように精神障害をもつ方への支援については一定の信頼性を得てたくさんの依頼が来ている。退院者の支援（住居・日中活動支援）、グループホームの紹介などの依頼が多い。</p> <p>計画相談では他の事業所と連携することが多く、福祉サービスの利用者と事業所がよい関係を作れるように橋渡しを行っている。</p>
③相談者プライバシーの確保	<p>7 月より職員体制が増員するのに合わせ、長橋十字街直結の 3 階建てビルのテナントを賃借した。作業効率も上がり、個別相談の場所を確保することができた。</p>

<p>④小樽市障がい児・者支援協議会への参加（要望・提言）</p>	<p>月1回の障害児・者支援協議会の幹事会に参画し小樽の福祉サービスを検討する会議を行った。相談支援事業所同士の連携を深めることによって他障がいの支援者ともつながりができ、良い協力関係を築くことができています。</p> <p>また、やすらぎは地域移行部会を運営し地域で暮らす障がい者の支援事例を通して各相談支援事業所の情報共有、処遇向上を図ることができた。今年度は第4期小樽障害福祉計画策定にあたり施設入所利用者の地域移行ニーズを調査し施設の意向を福祉計画に反映させるための検討を行った。</p>
-----------------------------------	--

障害種別（3月末現在）

（述べ相談件数）

	身体障害	重症心身障害	知的障害	精神障害	発達障害	高機能障害	その他
H26	58	22	109	571	11	0	29
H25	42	21	60	402	21	0	13

H25は前年同期

計画相談・地域相談実施状況（3月末現在）

（実施件数）

	計画相談	モニタリング	定着支援	移行支援	認定調査
H26	124	292	44	0	30
H25	93	261	23	0	8

・地域活動支援センター やすらぎ

H26年度計画	総合評価・今後の課題
①交流スペースの向上（移行）	<p>当初計画では、交流室の移転を含めてスペース拡充を検討したが、相談室の設置や稲穂事業所の開設を優先し交流室は現状のまま利用している。手狭ではあったが、利用者からは特に使いづらい声は上がらなかった。ただし、1人で横になれる場所も少なく、不便を強いられている感があった。</p> <p>3月からつぐっとメンバーと就労移行メンバーが稲穂事業所に移ったことで利用者も半減し、今後利用者の受け入れを積極的に増やしていく必要がある。</p>
②訪問支援の充実	<p>26年度は積極的な訪問支援は行えなかった。安否の確認ができない、ストーブがつかないなどの個別の支援に対応し11件の訪問支援を行った。職員体制の制限もあり今後も必要に応じた訪問支援となると思われる。ただし、必要な時に必要な支援ができるセンターとして機能したい。</p>

③イベントの充実	<p>今年度も毎月のレクレーションカレンダーを利用者の方と一緒に作成し週1～2回のレクレーションを行った。カラオケや食事会が人気で毎回3～4名の参加があった。</p> <p>今後も利用者の声を聴きレクレーション活動を行っていく。また、参加を促す方法としてやすらぎのアピール活動を地域へ発信したい。</p>
④日常的な相談機能の充実	<p>活動支援センター内でグループホームや就労支援の職員が勤務することで利用者への個別支援を強くすることができた。いつでも相談できる職員がいるという安心感から個別にいろいろな相談を持ってくる方が多かった。ただし、プライバシーに配慮できる場所が限られていた。</p>
⑤就労多機能との支援連携	<p>上記のように就労支援多機能型の就業場所と合同で支援をすることにより、「日中活動から就労へ」と流れを作ることができた。中には日中活動の支援とともに生活上の支援（金銭管理や体調管理等、一人暮らしの方への支援）に資することができた。</p>

利用の概要 4月～3月

	登録者数	うち男性	うち女性	平均利用者数	レク	訪問
H26	152	87	65	19	101回	9回
H25	176	99	77	23	130回	27回

※ 登録者数の減少は名簿の整理を進めて更新の無い方を減らしている為。

※ H27年度から支給決定を基に名簿を作成し、利用のない登録者を整理することにした。

・就労支援多機能型（マイウェイ・つぐっと・ひまわり）

H26年度計画	総合評価
<p>①トレーニングプログラムの充実（利用増） 安心して働ける定着支援の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 就職実績としては継続B型利用者からハローワークにチャレンジ雇用として1名、市内企業に2名、就労継続A型へ3名が決定した。就職後も定着のための支援をおこなっている。 ・ 就労移行支援プログラムではクロネコメール便を軸としてトレーニングを実施。個別支援を行いながら就職に向けた支援を実施した。 ・ つぐっとでは通常のグループホーム・せせらぎへの宅配のほか宅配も積極的に受けた。夏季には「あげとりや」の外販や20周年事業での出店を行い大きな成功を収めた。最高月額では7万円を超える方もあり利用者とスタ

	<p>ツフが一丸となった結果が表れた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ひまわりでは自分のペースで活動できる自由な雰囲気 が人気を得て利用希望者が多かった。小さな店内に 13 人の利用者が出入りし店員のほか清掃担当も活躍した。 12 月にひまわりのマスターとして活躍したK氏が逝去 され惜別の年末となった。
②つぐっとの検証（雇用型の 検証）	<p>「はたらくチーム」としてのつぐっとは生産性の高いチ ームに成長した。満を持して3月には新しい“職場”を得、 スタートを切った。飲食業に自信をもって活動できるたく ましいメンバーがみんなで作るまんぷく亭のユニフォー ムに身を包んで就労している。今後はまんぷく亭の充実と 改善を繰り返して成長していきたい。</p>
③活動支援センターとの協 力による活動場所の増設	<p>就労支援と活動センターが協同することにより、利用者 の支援連携ができていた。キャパシティの拡充として3月 から稲穂事業所を設置し、活動場所の確保を行った。今後 は利用者の受け入れを進め支援体制を充実させたい。</p>

利用の概要（4月～3月）

	延べ利用	1日平均	登録者数	就職者	職場実習
就労移行	1018	2.9	4 ^{※1}	5 ^{※2}	1
継続B	3527	13.1	18 ^{※1}	1	0

※¹3月末現在 ※²就労継続A型への雇用3名

事業収入（4月～3月）

	クロネコ	つぐっと	ひまわり
売 上	1,271,337	5,230,478 ^{※1}	1,227,785
工賃平均	15,289	31,243 ^{※1}	5,567

※¹まんぷく亭を含む